

◆科目名Course Title			
一般教育演習（フレッシュマンセミナー）（唾液のサイエンス～知られざるその能力～）			
◆授業担当教員Instructor			
高橋 茂			
◆開講学期Semester	前期	◆対象学年Year	1年～
◆履修可能人数Capacity	遠隔	◆単位数Number of Credits	2
	オンライン	◆授業形態Type of Class	演習
	オンデマンド		
	対面 3人		

◆キーワードKey Words	
唾液、唾液腺、文献検索法、レポート作成法、プレゼンテーション法、討論法	
◆授業の目的Course Objectives	
◆授業概要Course Description	
<p>本演習では、唾液およびそれを分泌する唾液腺のあまり知られていない働きぶりや能力などについて理解を深めるとともに、各自が興味を持ったテーマについて文献調査し、レポート作成、プレゼンテーションおよび討論の実際ができるようになることを目標とします。主に前半は講義を中心に行いますが、履修者はクリッカーを用いて授業参加します。後半は履修者各自が情報収集・レポート作成・プレゼンテーションを行います。</p>	
◆到達目標Course Goals	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1.唾液・唾液腺に関する基本的事項を説明できる。</li> <li>2.目的に応じて文献調査し、必要な情報を得ることができる。</li> <li>3.収集した情報から報告書（レポート）を作成できる。</li> <li>4.プレゼンテーション用のメディアを作成し、それを用いた口頭発表および質疑応答ができる。</li> <li>5.討論の司会進行ができる。</li> </ol>	
◆授業計画Course Schedule	
<p>主に前半は教員による講義と履修者によるグループワークを中心に行い、後半は履修者各自が情報収集・レポート作成・プレゼンテーションを行います。各回（全15回）の概要（予定）は以下のとおりです。</p> <p>第1回（講義）本科目の紹介（オンライン）</p> <p>第2回（講義）本科目の進め方（オンライン）</p> <p>第3回（演習）図書館情報入門（オンライン）</p> <p>第4回（講義）唾液腺の構造（対面）</p> <p>第5回（講義）唾液・唾液腺のはたらき（対面）</p> <p>第6回（講義）口腔乾燥症・唾液腺の病気（対面）</p> <p>第7回（講義）新たな唾液・唾液腺の応用（対面）</p> <p>第8回（演習）良いレポート・発表とは（対面）</p> <p>第9回（演習）テーマの選択・演習の要領（対面）</p> <p>第10～11回（演習）文献調査・レポート作成・メディア作成（オンライン）</p> <p>第12～14回（演習）発表会（対面）</p> <p>第15回（講義）まとめ（対面）</p>	

❖成績評価Grading System
①出席数2/3（10回）以上の履修者が成績評価対象となります。（出席数2/3未満は不合格） ②成績評価は、授業や演習への積極性（約10%）、レポート内容（約45%）、プレゼンテーション内容と討論への取り組み（約45%）などを総合的に評価します。
❖テキストTextbooks
特定の教科書は使用しません。毎回、テキストとなるプリントを配付します。
❖参考書Reading List
唾液は語る，山口昌樹・高井規安 スタンダード口腔生理学，上羽隆夫 口腔生物学各論「唾液腺」，天野 修・草間 薫 ドライマウスの臨床，斎藤一郎他， 徹底レクチャー 唾液・唾液腺， 新口腔病理学，下野正基・高田 隆
❖準備学習Homework
講義期間においては興味を持ったことや疑問に思ったことなどについて予習、復習が望まれます。演習期間ではレポート作成や発表用メディア作成が時間内に終了しない場合、課外時間で完成させることが必要となります。
❖オフィスアワーOffice Hour
❖連絡先E-mail
❖質問・相談への対応方法Contact Information
❖履修上の注意Notes
❖備考Other Information
対面授業を中心に実施しますが、一部がオンライン授業となる予定です。 対面授業：5月12日、19日、26日、6月2日、9日、16日、7月7日、14日、21日、28日 オンライン授業（ライブ型）：4月14日、21日、28日、6月23日、30日